

「あすたむらんどリニューアル基本構想（素案）」に係るパブリックコメント実施結果について

令和8年3月3日（火）から令和8年4月8日（水）までの間、「あすたむらんどリニューアル基本構想（素案）」についてご意見を募集した結果、26名の方から27件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
1	<p>維持費・経費が掛かるのはわかるが、少し前に報道されたように「駐車場代」を有料にするのは、（いくら安価でも）できるだけ避けてほしい。行かなくなる人が増えると思われる。中のアトラクションで有料のものもあるように、イベント事を有料化して収益に反映させればよいと思う。ただ、家族連れが子どもと&amp;ジジ・ババが孫と→公園に遊びに行くだけに駐車代の有料化は厳しいと考える。本当に“にぎわい”が減りますよ。</p>	<p>施設の老朽化はもとより、人口減少や少子高齢化が進む中、施設を将来にわたり維持し、魅力を高めていくためには、持続可能な運営体制の構築が重要であることから、基本構想において、入園料や駐車場の有料化等料金設定の見直しを検討課題として掲げております。</p> <p>料金のあり方につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、これからも多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、充実するサービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 徳島県立あすたむらんどは、淡路ファームパーク・イングランドの丘のように花の観賞、野菜や果物の収穫体験、食の体験とクラフトの体験等ができる体験型の施設へと進化・進展を行う。</li> <li>○ 徳島県立あすたむらんどは公設民営方式の導入を行い、遊びの創造らんど「おもちゃ王国」を管理運営者にする。</li> <li>○ 徳島県立あすたむらんどに、千葉マザー牧場のように牧場を開設して乗馬体験ができるようにする。</li> <li>○ 徳島県立あすたむらんどに、しらとり動物園のように動物園を開設をする。</li> </ul>	<p>基本構想において、「本県の豊かな自然や産業・技術、伝統文化を体感できる拠点として、徳島の未来を担う人材育成や地域活性化に寄与する施設」を目指すことを基本方針の1つに掲げております。</p> <p>また、見直しにあたっては、民間活力の積極的な導入により、施設の魅力向上と運営の効率化を両立できる運営体制の実現を目指すこととしております。</p> <p>ご提案いただいた事例を参考とさせていただき、にぎわいを生み出す魅力的な施設づくりを進めてまいります。</p>
3	<p>サンリオ、博報堂、小学館、ユニクロ、WBC、人気の高い収益の有ることを積極的に導入し継続してカタチやイメージを変える。イケヤとかの話題や実益を考えるのも面白いと思う。</p>	<p>あすたむらんどを、ファミリー層はもとより、若者や観光客など幅広い方々が訪れる「にぎわい創出拠点」へと進化させていくためには、ご提案のような集客力や収益性の高い新たなコンテンツの導入が欠かせないものと認識しております。</p> <p>今後、施設の持続可能な運営と魅力向上に繋がるコンテンツづくりに積極的に取り組んでまいります。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 徳島県立あすたむらんど内に、「レゴランドのコーナー」を設置する。</li> <li>○ 徳島県立あすたむらんどが、「あせび温泉やすらぎの郷」並びに「道の駅いたの」と連携して徳島県立あすたむらんどの魅力度を高める。</li> <li>○ 徳島県立あすたむらんどとJR板野駅とを結ぶシャトルバスの運行を行う。 ⇒ JR板野駅を発着する特急「うずしお号」の時間帯に合せる。(徳島方面並びに高松方面)</li> </ul>	<p>あすたむらんどを、ファミリー層はもとより、若者や観光客など幅広い方々が訪れる「にぎわい創出拠点」へと進化させていくためには、新たなコンテンツの導入や周辺施設との連携が欠かせないものであるほか、主なアクセス手段が車となっている現状において、学生や観光客など、幅広い層にご利用いただくためのアクセス向上が重要な課題と認識しております。</p> <p>今後、関係機関や自治体、事業者等との連携を図り、施設の魅力度向上やアクセス向上に向け、検討を進めてまいります。</p>
5	<p>一歳の子供がいます。あすたむらんどには子供を連れて月5～6回程行って散歩したり遊具で遊んだりしています。近所の公園と違い、平日でも人がいるのでトイレも不審者の心配をせず安心して使う事が出来助かっています。現在、駐車場代と入場料が無料な為気軽に行けてますがそれらが有料となると中々行く事が出来ません。現在のまま駐車場代は無料、新規エリアのみ有料は難しいでしょうか。子育てのしやすい県にしてください。すみませんがよろしくお願いします。</p>	<p>施設の老朽化はもとより、人口減少や少子高齢化が進む中、施設を将来にわたり維持し、魅力を高めていくためには、持続可能な運営体制の構築が重要であることから、基本構想において、入園料や駐車場の有料化等、料金設定の見直しを検討課題として掲げております。</p> <p>料金のあり方につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、これからも多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、充実するサービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
6	<p>子供が小さい頃は遠足などで行っていました。</p> <p>徳島には遊べる場所がないので県外に出かけることが多いと思いますので子供が喜べる居場所を作ることが重要ではないでしょうか。</p> <p>県外では、子ども体験型（キッズニア）施設はいつも賑わっています。子育てをしたものとしては、子供の頃の体験、経験というのはとても大事だと思っています。体も動かす事も大事だと思いますので、</p> <p>6 球場作ったり、スポーツ施設を併設するのもいいのではないのでしょうか。蔵本球場は、駐車場少ないので、大会あるたびに大渋滞で家に帰る事もままならないです。あすたむランドは駐車場も広いので渋滞緩和にもいいのではないのでしょうか。一家に1台の車から今では一家に4台があたりまえになってきているので郊外を利用するのはいい事だと思います。</p>	<p>基本構想では、「遊びや体験を通じて夢や目標を見出すことのできる施設」や、「本県の豊かな自然や産業・技術、伝統文化を体感できる拠点として、徳島の未来を担う人材育成や地域活性化に寄与する施設」を目指すことを基本方針として掲げております。</p> <p>様々な体験や遊びができる場として、こどもやご家族連れの皆様にも、これまで以上に喜ばれる施設を目指してまいります。</p>
7	<p>まず、2ページ目の図について気になった点があります。1つ目と2つ目の図で横軸の年度がそろっておらず、比較がしにくくなっています。可能であれば横軸を統一する、あるいは1つの図にまとめるなどの整理を行ったほうがよいと思います。</p> <p>また、図に示されている傾向線についてもやや恣意的に見えます。令和4年度のデータの扱い方によって結果が変わる可能性があるためです。図から判断すると、コロナ禍であった令和2年度・令和3年度のデータは傾向線の作成から除外されているように見受けられます。その場合、令和4年度の運営状況、特にコロナ禍におけるインドア施設の運営対応がどのようであったのかを明確にしないまま、「子ども科学館やプラネタリウムの来館者が減少傾向にある」と結論づけることには、やや慎重であるべきではないかと感じました。</p> <p>一方で、少子高齢化に伴う人口減少により、潜在的な来園者数が将来的に減少する可能性があるという指摘については、私も同意します。</p> <p>私はコロナ禍の時期に一度あすたむらんどを訪問しました。子ども科学館については、体験型展示が多く、非常に良い施設であると感じました。ただし、展示に関する解説がやや不足している印象を受けました。一般の保護者が展示の背景にある科学的な仕組みを子どもに説明することは容易ではないため、解説パネルや補助的な説明の充実があると、より教育的効果が高まるのではないかと思います。なお、プラネタリウムについては今回見学しておらず、コメントは差し控えます。</p> <p>提案されているリニューアルの方向性については、基本的に賛同します。ただし、科学館という施設の性格について一点だけ触れておきたいと思います。一般に科学館は、入場料収入のみで運営が成り立つ施設ではなく、多くの場合、行政からの財政支援によって運営されています。むしろ、行政からの支出の方が入場料収入を上回るケースが一般的です。</p> <p>この点は重要であり、仮に施設をより魅力的に整備したとしても、入場料収入のみで運営を維持することは難しく、行政による継続的な支援は不可欠であると考えます。そのうえで行政としては、その投資が</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 県民、とりわけ子どもたちの科学教育に資すること</li> <li>- 県外からの来訪者を呼び込み、徳島を訪れる動機となること</li> </ul> <p>といった観点から、どのような価値を生み出すのかを考慮し、施設の改革方針を検討していただければと思います。</p>	<p>グラフ表記に関するご指摘を踏まえ、修正いたしました。</p> <p>また、コロナ禍（R 2～4）の利用状況データは、傾向線から除外しております。</p> <p>施設のリニューアルや今後の運営において、入場料等の収益のみで全ての経費を賄うことは難しく、公共施設として行政による一定の継続的な負担が必要であるのご指摘は、重要な視点であると認識しております。</p> <p>ご指摘のとおり、公費を投じるためには、その投資がどのような社会的価値を生み出すのかを明確にすることが不可欠です。「基本構想」におきましても、「次世代を育む科学・技術の探求拠点」や「観光客等をターゲットとした新たなにぎわい創出」を重視する機能として掲げており、今後、本施設が生み出す価値を十分に考慮し、公費負担と民間活力、公益性確保と収益性向上の適切なバランスを図りながら、施設リニューアルを進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
8	<p>既存の子ども科学館について、あすたむらんのリニューアルに合わせ、周辺他県を参考に科学技術分野を専門とする徳島県立科学博物館などと名称変更し、学芸員を配置した上で博物館法に基づく登録博物館へ移行するなど、施設や内容をより一層充実させるべきであると考えます。</p> <p>なお、徳島県立博物館の文化の森総合公園への移転に伴って削減された分野を補完するため、新たに同館との連携を図る必要があると感じます。</p> <p>また、県内産業の特徴であるLEDに関しても、展示内容として特に取り上げる必要があると思います。</p>	<p>現在の「子ども科学館」は、遊びながら科学を学ぶ体験型の社会教育施設です。資料の収集・保管や学術研究を必須とする登録博物館化を目指した場合、現在の強みである体験型展示のスペースへの影響も考慮する必要があります。</p> <p>当該施設においては、今後、県立博物館との役割分担のもと、お子様をはじめ幅広い世代の『科学への入り口』として体験重視のスタイルを進化させることが重要と考えております。そのため、「基本構想」において、エンターテインメント性を加味した展示内容の刷新や、地元産業・技術の紹介を重視する機能として掲げております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、県立博物館等の関連施設や教育機関、企業・団体との効果的な連携を図ってまいります。</p>
9	<p>花が少な過ぎて寂れた感じがする。費用と人手が必要にはなるが、香川のまんのう公園や淡路島の花さじきのように、広大な敷地を生かして四季折々の花をもっといっぱい咲かせて、華やかな公園にしたい。</p>	<p>基本構想では、多世代が楽しめる遊びと憩いの環境づくりとして、「四季折々の自然を楽しめるエリアの設定」を重視する機能に掲げております。</p> <p>ご指摘のとおり、広大な敷地を花で彩ることは、多くの人を魅了する一方で、造成や維持管理に多大な費用や労力を要するといった課題もあることから、持続可能性も鑑みながら、魅力的な空間づくりのための検討を進めてまいります。</p>
10	<p>公園の自然を活かしたアウトレット施設や飲食店などの商業施設を併設し、幅広い層が1日中遊べるテーマパークにしてほしい。</p>	<p>多様な世代が楽しめる飲食や商業施設等の導入は、にぎわいの創出や利用者満足度の向上、さらには持続可能な施設運営を実現する上でも非常に重要であると認識しております。</p> <p>施設リニューアルにあたっては、民間事業者からの提案等を積極的に取り入れながら、魅力あるにぎわい創出の拠点づくりを進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
11	<p>現在のあすたむらんど徳島は、県内でも来場者数が多く、家族連れを中心に高い評価を受けている施設であると認識しております。</p> <p>そのため、大規模な新規施設の整備よりも、現在の魅力（豊かな自然環境・広い芝生空間・体験型施設）を活かした「進化型リニューアル」が望ましいのではないかと考えます。</p> <p>特に今後は、維持管理費・修繕費・人件費といった運営面も踏まえ、自然と調和し、維持コストの少ない施設整備を進めていくことが重要であると思います。</p> <p>その方向性として、「日本一の自然体験公園」をコンセプトに、徳島の森・川・食・文化といった地域資源を活かし、子どもから大人まで楽しめる持続可能な公園へと進化させることを提案いたします。</p> <p>例えば、広い芝生や自然地形を活かし、長い芝生の斜面を利用した草すべりや、ロングジップライン、吊り橋などのアスレチックを整備し、「日本一長い」といった特徴を持たせることで、子どもたちがワクワクする体験型施設とすることが考えられます。</p> <p>また、徳島の自然や文化を体験できるエリアとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木しいたけ体験・カヤック体験・藍染体験など、徳島ならではの体験プログラムを充実させることで、学びと楽しさを兼ね備えた空間づくりが可能になると思います。</li> </ul> <p>さらに、知事がお話しされていた「キッズニア」のような体験を参考に、徳島キッズ職業体験（ミニ版）として、地元企業のご協力を頂き、子どもたちが地域の仕事や産業に触れられるプログラムを取り入れることも魅力的な取り組みになると考えます。</p> <p>既存のプラネタリウムも活用しながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星空ナイトウォーク・森のライトアップ・自然を活かしたプロジェクションマッピングなどの夜間演出を行うことで、昼だけでなく夜も楽しめる公園として新たな魅力を創出することも期待できます。</li> </ul> <p>また、近年全国で人気が高まっている大型ネット遊具として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空中ネット迷路・巨大トランポリンネット・空中アスレチック</li> </ul> <p>などの導入も、子どもたちにとって魅力的な遊び場づくりにつながると考えられます。</p> <p>さらに、徳島の食の魅力を発信する場として、徳島食のマルシェエリアを整備し、「公園パートナー制度」を設けることで、地域事業者が参加できる仕組みをつくることも有効ではないでしょうか。</p> <p>定期的にマルシェを開催することで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島の食の魅力発信・地域事業者の参加促進・公園の賑わい創出といった効果が期待できます。</li> </ul> <p>このように、現在の魅力を活かしながら徳島の自然・文化・食を取り入れた体験型の取り組みを進めることで、あすたむらんど徳島は「日本一の自然体験公園」として、さらに多くの人々に親しまれる持続可能な公園へと発展していくのではないかと考えます。</p>	<p>新規施設の整備ではなく、豊かな自然環境や広い芝生空間など、現在の施設の強みを活かした進化型リニューアルのご提案や維持コストへの配慮というご意見は、持続可能な運営を実現するためにも重要な観点であると認識しております。維持管理コストを踏まえた施設の最適化につきましては、検討課題として基本構想に追記しました。</p> <p>自然地形を活かしたアスレチックや大型遊具の充実、夜間を活用した新たな魅力の創出、さらには地元企業と連携した職業体験や、食・文化など地域資源を活かした体験プログラムなどのご提案につきましては、今後、施設リニューアルを進める上での参考とさせていただきます。</p> <p>また、地域事業者が参加しやすい仕組みづくりのご提案につきましても、地域経済の活性化につながる重要な視点であると考えております。リニューアルに向け、民間事業者のノウハウや提案を積極的に取り入れ、多様な主体が参画できる持続可能な施設運営を目指してまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
12	<p>「施設価値の最大化」「にぎわい創出」という目的をならば、当初のあすたむらんどコンセプトから外れていると思います。そもそも、施設名や設置施設からあすたむらんどターゲットは地域の子ども(小学校低学年くらいまで)にしか対象にしていなと感じます。「科学の学び」というのはとても強く感じますが、「学び」だけでは賑わうことも難しいので、もっと「遊び」を取り入れたらいいのではと思います。</p> <p>公園の「施設価値の最大化」「にぎわい創出」を掲げてリニューアルするのであるのであれば、限られたターゲットは外さなければいけないのでしょうか。</p> <p>「施設価値の最大化」を実感するのであれば、唯一無二の物を作る。「にぎわい創出」を実現するのであれば、多くの世代、遠方の地域からの来場者、観光客をターゲットにするべきでは無いのかなと思います。</p> <p>また、近隣の公園には花公園が各県に1つはある様な気がします。あすたむらんどにも花が植わっているゾーンがありますが、点々と植わっている程度で、種類もバラバラで魅力が感じられません。風車もあるのに周りが殺風景で物足りないです。少し花も植わっている時期もありますが、少ないです。</p> <p>他県の公園を例に出すのであれば、淡路島の花さじきの様に一面の〇〇の花畑の様に季節の花で埋め尽くすエリアがあっても良いのでは無いと感じます。風車、丘、その周辺のエリアを活かし他所には無い「広大」な花畑があれば、魅力を感じるのでは無いかと思います。可能ならば造成しエリアの拡大も検討してください。</p> <p>今までのコンセプトを残すのであれば、既存施設は残したままで、ゾーン分けを行い、芝生の広場、子ども遊具やプラネタリウムはあっても良いと思います。</p> <p>プラネタリウムのある花畑公園なんて魅力に感じます。</p> <p>また、管理運営に少しでも収益が必要ならば、価値のあるものならば、入園や駐車場台で有料にすればいいと思います。ただ、小学生以下は無料などの措置は必要だと思います。</p> <p>ぜひ、他所には無い唯一無二の施設としてリニューアルしてください。</p>	<p>ご指摘のとおり、「施設価値の最大化」や「にぎわいの創出」を実現するためには、これまでの主な利用者であるファミリー層だけでなく、幅広い世代や県外からの来訪者にも楽しんでいただける施設へと進化させることが不可欠であると認識しております。「基本構想」におきましても、「エンターテインメントを通じた学びの拠点」を基本方針とし、あらゆる世代が楽しめるエデュテインメント拠点を目指すこととしております。</p> <p>広大な敷地を活用した花畑につきましては、多くの人を魅了する一方で、造成や維持管理に多大な費用や労力を要するといった課題もあることから、持続可能性も鑑みながら、魅力的な空間づくりのための検討を進めてまいります。</p> <p>料金のあり方につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、これからも多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、充実するサービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p>
13	<p>あすたむらんど徳島の駐車場スペースが多くあるので、そこの一角を車中泊出来るようにRVパークを設置するとういと思う。</p> <p>あとは無人の売店のようなものもあれば、子連れでも安心して来れるしいいと思う。</p> <p>あとは園内を走れる自転車を置くとかジョギングコースを作る</p> <p>そして、あすたむらんどの入場料は県外の人は何百円または板野町民以外は何百円とか少しお金を徴収するようにする。</p> <p>あとはヴォルティスの練習場も近いので、サッカー関連の催しやグッズ販売も行えばいいと思う。</p> <p>春は花見のスポット、夏はプールや花火で夜は虫取り、秋は紅葉にキッチンカーでグルメ、冬はイルミネーションなど季節ごとのイベントの充実</p> <p>やはり子供連れで行ける場所があると、親としても助かる</p> <p>私自身小さい頃から何回もお邪魔させていただいているが</p> <p>現在は無くなっては困る場所になっている</p> <p>4歳の子供もどこに行きたいと聞くとゆめタウンかあすたむらんどと言う。</p> <p>みんなでもっと良くてきたら子供が大人になった時に、また自分の子供を連れてくるとかなって欲しい。</p>	<p>RVパークや無人売店の設置、自転車やジョギングコースの整備など、多様なニーズに応え、より快適に過ごすためのご提案や、季節を楽しむイベントの充実、近隣の地元スポーツチームと連携したイベントのご提案は、施設へのにぎわい創出が期待されるものです。「基本構想」におきましても、「多世代が楽しめる遊びと憩いの環境」を重視する機能として掲げており、施設の新たな魅力創出を検討する上での参考とさせていただきます。</p> <p>料金のあり方につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、これからもお子様をはじめ、多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、サービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
14	<p>おもちゃ美術館には、年間パスポートを買って通ってくださる小さなお子様をお持ちのお母さまが多数おられます。スタッフとも仲良くなって子育てのお手伝いが出ていて、やりがいがありました。駐車場有料化、施設の料金値上げ等はこの方たちの締め出しにつながり、子育ての妨げになるのではないかと考えます。有料にするなら県民や年間パスポート者には無料チケットを渡す等、考慮していただきたいと思います。</p> <p>科学館や公園施設の老朽化は気になっていますが、「にぎわい創出」のために県外の大企業に県税を吸い上げられる施策は避けていただきたいと思います。</p>	<p>当施設が、子育て世代の皆様にとっての身近な場所であることは、施設が有する重要な価値であると認識しております。ご指摘のありました料金のあり方につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、子育て世代の皆様をはじめ、多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、充実するサービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p> <p>あすたむらんどがこれからも魅力ある施設としてあり続けるためには、サービスや利便性の向上、運営の効率化を実現する民間活力の導入を積極的に検討する必要があります。地域経済への波及効果を考慮しながら、地元企業の参画を促す仕組みづくりや、県内事業者・地元産業との連携が図られるよう、事業スキームのあり方について研究してまいります。</p>
15	<p>駐車場など有料になっても良いので、営業時間を19時など遅く延ばして欲しいです。</p> <p>子供のいる家族連れにとっては閉園が早くても問題ないかもしれませんが、カップル、大人のみからしたら、午後に入園したときにくつろぎ館で閉園時間に追われくつろげないことがあるので、閉園時間がもう少し遅いと良いなと思います。</p> <p>営業時間が延びると、子供だけでなく大人も行きやすくなります。</p> <p>入園料、駐車場料金は無料なので今までが安すぎました。</p>	<p>若者など新たな利用者層を獲得するため、夜間時間帯の活用については基本構想においても重視する機能として掲げており、営業時間の延長につきましては、利用者のニーズを踏まえた利用環境の整備を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、駐車場等の料金設定につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、施設の持続可能な管理運営を実現するため、各施設の目的や役割、サービス内容を踏まえた適切な料金のあり方について、検討を進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
16	<p>本基本構想（素案）が示すエンターテインメント性の高い施設へのリニューアルや施設利用料の見直しについては、県が実施した「あすたむらんど」のあり方見直しに係る県民アンケート」の結果が示す県民多数の意見・要望等と整合していないと考えられる。エンターテインメント性が先にありきではなく、県民の利用実態やニーズを優先したリニューアルが求められる。</p> <p>上記アンケート結果を踏まえた現実的なリニューアルの方向性として、商業的なテーマパークではなく、現状に近い料金体制を維持したまま、園内各施設が現有する教育的・社会的な機能を維持・更新しながら、多くの県民が認めている多様な存在価値を有する公共的施設としてあすたむらんどを存続・発展していくことを提案する。</p> <p>その根拠として、同アンケートで得られたあすたむらんど利用経験者（回答者の97%）の意見に着目すると、同園の利用目的（Q5）として、表面的にはエンターテインメント性が求められているように見えるが（娯楽の回答割合59%）、その内実は以下に述べるように多面的である。</p> <p>子ども科学館（Q8）の「現状維持（45%）」と「学び・体験施設として継続（40%）」を求める意見を合わせた割合（計85%）は、「別の施設にしてもよい（9%）」に比べて圧倒的に多く、プラネタリウム（Q9）も「現状維持（71%）」が多数を占めている。同園に求める機能（Q13）として、「学習・教育（15%）」「実験や工作等、体験プログラム（15%）」などの教育的機能と、「遊具などで遊ぶ（19%）」「家族や仲間とのくつろぎ・交流の場（12%）」「自然とのふれあい（9%）」「健康・運動（7%）」などの家族や日常生活でのウェルビーイングを求める意見が多数である。逆に「中高生、若者も楽しめるアトラクションやイベントなど（11%）」のようなエンターテインメント性へのニーズは限定的である。社会教育施設として強化すべきテーマ（Q14）には「科学・宇宙22%」が最多であり、科学館として本来有する科学教育的機能の存続が最も強く求められている。</p> <p>同園の施設利用料（Q16）について、「誰もが気軽に利用できる無料か低料金の設定（維持管理費は県負担）（33%）」への期待が「ある程度利用者負担はやむを得ない（後略）（31%）」を上回っている。有料施設の料金設定（Q17）として、大人（高校生以上）料金で「500円未満（42%）」が最多、次いで「300円未満（39%）」であり、両者で計81%に達する。また、駐車場料金（Q19）に関しては、1日最大「200～300円未満までなら利用（57%）」が過半数を占める一方、「有料であれば利用しない（13%）」も一定数存在する。同アンケート回答者の97.5%は県民であり、県民の多数は現行に近い料金体制の維持を望んでいる。</p> <p>他府県の職業体験施設やエンターテインメント施設の利用料を例示すると、「キッズニア甲子園」（兵庫県）で大人（16歳以上）2,500～3,000円、小人（3-12歳）3,500～7,100円、「チームラボ」（京都府）で大人（18歳以上）4,000円～、「レゴランド・ディスカバリー・センター」（大阪府）で大人変動料金3,300円前後などとなっており、駐車場料金も別途必要である。</p> <p>エンターテインメント性の高いテーマパーク的施設にリニューアルする場合、安定的な収入確保と施設維持を両立するには、上記施設とほぼ同程度の料金設定が必要になり、県民の多くが求める価格帯を大きく上回る。逆に県民の多数が求める料金体制を実現するには、県の費用負担を増やすか、それができない場合にはサービスの低下は避けられないと考えられる。また、既存主要施設の全面的な刷新は、県のアンケート結果に見られた県民の多くが認めている教育的機能やウェルビーイングの向上に資する存在価値を大きく損なう恐れがあり、一時的な集客増加は見込めても、県民の真のニーズに合致しない実態を反映して、来園者が急減していくことが危惧される。この場合、素案が重視する3つの機能を発揮することは困難であり、年間60万人来園や持続可能な収益循環の創出の各目標を達成できる可能性も低い。</p> <p>子ども科学館を中核施設とするあすたむらんどにおいて、素案が掲げる重視する機能（1）次世代を育む科学・技術の探求拠点としての機能強化は最も重要である。最新の全国学力・学習状況調査の結果を参照すると、徳島県の小中学生の理科や算数・数学の正答率は全国平均を下回り、理数学力の向上が課題となっている。その一方、徳島県の小学生は「理科に関する意識」のスコアが全国平均よりも高いことが同調査から指摘されている。これらの結果を単純に子ども科学館・プラネタリウムの効果に帰結させることはできないが、県実施のアンケートに寄せられた県民の意見から、同施設の展示や体験等は県内児童生徒の科学への興味関心の向上において一定の役割を果たしてきたと考えられる。徳島県における理数教育の充実や人材育成は、県が各教育委員会、学校、家庭、地域社会と協力しながら取り組むべき課題であり、社会教育施設である子ども科学館の運営においては、経済的収益よりも教育的・社会的便益を優先した財政政策が必要と言える。</p> <p>国連が掲げる持続可能な開発のための目標SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の達成に向けて、徳島県においても、だれもが公平に良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めていく施策が求められる。現在のあすたむらんど駐車場無料や比較的安価な施設利用料は、来館の経済的負担や心理的ハードルを低減し、社会経済的背景による教育格差や体験格差を是正する上でも有効だと考えられる。逆に、駐車場を有料化し、施設利用料を商業的なエンターテインメント施設と同程度に設定する場合、経済的理由で利用を控える県民が急増すると想定され、教育格差や体験格差をさらに拡大してしまう恐れがある。</p> <p>公平な教育の実現の観点からは現行の料金体制が望ましいが、安定的な収入確保による持続可能な運営と発展的な施設維持・更新も重要である。現行の料金体制の維持が財政的に困難な場合には、例えば駐車場料金を低価格（200～300円程度）に設定し、さらに子ども科学館・プラネタリウムなど有料施設利用者には駐車場無料とするなどの措置を講じれば、有料化に伴う利用控えを部分的に緩和できる可能性がある。また、現在未導入の年間パスポート制度などを設けることで、より安定的な収入確保につながると期待される。</p> <p>あすたむらんどがこれまでの事業の中で確立してきた多面的な機能や存在価値を損なうことなく、広く県民のウェルビーイングの向上に貢献する公共的施設として適切にリニューアルされ、発展的に存続することを期待している。</p>	<p>ご指摘のとおり、アンケートで評価された「科学教育的機能」や「自然とのふれあい」等の機能は、本施設の重要な価値であると認識しております。</p> <p>基本構想に掲げる「エンターテインメントを通じた学びの拠点」は、既存機能を廃止して商業的テーマパークへ全面的に転換するものではなく、「学び・体験」や「豊かな自然」という強みに「遊び」の要素を掛け合わせ、多世代が自発的に楽しめる空間への進化を目指すものです。</p> <p>子ども科学館をはじめとする当施設が、こどもの科学への興味・関心を高め、教育的・社会的便益をもたらす役割は重要であると認識しており、基本構想におきましても、「次世代を育む科学・技術の探求拠点」を重視する機能として掲げております。施設の教育機能について基本構想に補足するとともに、子どもたちが良質な学びや体験を得られる社会教育施設としての役割を踏まえ、魅力的な施設づくりを進めてまいります。</p> <p>ご意見のとおり「公共性（気軽な利用）」と「持続可能な収益性の確保」の両立は重要な課題と認識しております。料金のあり方について、基本構想の記載内容を補足するとともに、今後、民間事業者のノウハウを取り入れて新たな魅力を付加しつつ、施設の役割や目的、サービスの内容を踏まえ、適切な料金のあり方について慎重に検討を進めてまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
17	<p>構想案を拝見しました。コンセプトが広すぎて逆に的をしぼれていないように感じます。書いてある事は悪い事ではありませんが、魅力にかけるかなと感じました。徳島は関西も近く淡路島や関西にはおもしろいテーマパークやコンテンツが多数あります。徳島らしさ！を無理に追求しなくてもいいように感じました。自然とかを軸にするとすでに既存の県外コンテンツや施設にはかないません。4歳の我が子が行きたいと思えるような施設で下記のように企業の発信力とコラボしたらどうでしょうか。</p> <p>①企業とコラボしたエンターテイメント施設 タカラトミーのトミカワールド。を自然の中の徳島に落とし込みする。</p> <p>②アニメ ワンピース × 自然体験 施設とか。</p> <p>③すだちくんミュージアム</p> <p>④敷地内にシルバニアファミリー空間の誘致</p> <p>個人的には、知事の人脈で、トミカワールドの誘致を期待したいです。</p>	<p>「基本構想」は、今後の施設づくりにおける「大きな方向性や枠組み」をお示しするものであり、あえて具体的な施設やコンテンツを限定しすぎないことで、民間事業者から自由で魅力的なアイデアを幅広く引き出すことを意図しております。</p> <p>人気アニメやキャラクターとのコラボレーションなど、魅力的なコンテンツやテーマの導入は、新たな集客力を生み出し、施設全体の魅力を飛躍的に高める有効な手法であると認識しております。「基本構想」に掲げる「エンターテインメントを通じた学びの拠点」を具体化していくにあたり、民間事業者のノウハウやアイデアを最大限に活用しながら、他県にはない魅力的な施設づくりに取り組んでまいります。</p>
18	<p>有料で構わないので、交通公園を作ってほしいです。こどもたちが遊びながら交通ルールやマナーを学べるように、信号機、横断歩道、交通標識、踏切など、実際の道路環境を再現したもの。交通マナーが全国でも悪いと言われています。実際の道路では練習をしにくい。遊びながら交通マナーを学べる場所があったら嬉しいです。自転車や足こぎカートなどの貸し出しもあるとさらに嬉しいです。リニューアル期待しています。</p>	<p>「基本構想」に掲げる「エンターテインメントを通じた学びの拠点（エデュテインメント拠点）」を具体化するにあたり、「交通安全教育」という学びの要素と、自転車やカート等の「遊び」の要素を組み合わせたご提案について、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>あすたむらんど徳島をよく利用させていただいています。</p> <p>未就学児と両親で利用していますが、確かに遊具は少し大きい子向けなので、小さい子どもに適した遊具設置やゾーニングをお願いできれば幸いです。</p> <p>雨になったときに行くのをやめてしまったことが多々あり、駐車場から施設へのアクセスや無料で使える屋内施設の充実を望みます。</p> <p>屋外施設は県内でいくつかあるものの、屋内施設は少なく、特に雨の日や気温が高い場合に屋内で遊べる場所があればありがたく思っております。</p> <p>交通アクセスについても、場所を考慮していただけたら幸いです。</p> <p>駐車場をを有料化するなどの案も出ていますが、アクセスの関係上、車で来るしかなく、昼食場所も少ないことから、それならショッピングセンターに行くとなりそうです。</p> <p>徳島ならではのものが幼い子でも食べられる食堂のメニューや過ごしやすい場所作りを希望します。</p> <p>以前はチームラボとのコラボでたくさんの方が来ていたのを覚えています。徳島ゆかりのある会社と定期的にコラボして、イベントしていけば集客できると思うので、大きな施設を新設するよりも今あるものをできるだけ使えないか、長く使えるものを設置できないか、考えて欲しいと思います。</p> <p>施設などの入場料は家族で行く場合を考えて抑えていただけるとありがたいです。おもちゃ美術館を含め、これくらいかかるなら行かずに別のところで遊ぼうとなるので、年間パスや県内在住者向けに割引するなどの工夫があるといいと思います。</p>	<p>未就学児向け遊具のゾーニングや、天候に左右されない屋内環境の確保につきましては、子育て世代の利便性向上につながる重要なご意見と受け止めております。「基本構想」に掲げる「多世代が楽しめる遊びと憩いの環境づくり」に向け、今後の施設整備を検討する上での参考とさせていただきます。</p> <p>飲食メニューの充実や休憩場所の確保は、施設の滞在環境を向上させるための重要な視点であると認識しております。また、既存施設を活用した企業等との連携企画は、にぎわい創出に向けた有効な手法の一つと考えられます。今後、民間事業者のノウハウ導入を検討する中で、既存資産を活かした機能充実のあり方について研究してまいります。</p> <p>施設の持続可能な管理運営にあたっては、一定の収益確保が不可欠となります。今後の料金設定につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、施設の維持管理コスト等を踏まえつつ、ご提案の「年間パスポート」や「割引制度」などの負担軽減策も含め、施設の目的や役割に応じた適切なあり方について総合的に検討してまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
20	<p>・人口が減るのがわかっているのに、大規模修繕は必要ないと思います。</p> <p>・日本は相対的に安い国となり、インドなどが台頭してきている中でもう先進国などとは言っていない状況で、エンタテイメントを行政がする意味があるのでしょうか。</p> <p>・公園は、基本的には、両親や祖母が子供を連れていくことが多いところです。</p> <p>子どもが減るのに、現在の規模を維持・発展する必要はないと思います。</p> <p>きれいに縮小化をしていったほうが、県民の将来の負担が少なくて済みます。</p> <p>英断をされて、縮小化へ向かうことを期待します。</p>	<p>今回のリニューアルにおきましては、民間活力を積極的に導入することで、施設の維持管理に係る公費負担をできる限り軽減しつつ、持続可能な運営体制を構築することを目的としております。維持管理コストを踏まえた施設の最適化につきまして、検討課題として基本構想に追記するとともに、長期的な視点に立った施設の適正規模や、公費と民間活力のバランスのあり方について、引き続き慎重に検討を進めてまいります。</p>
21	<p>あすたむらんど徳島のリニューアルにあたり、科学と自然に触れ合う場としての価値をさらに高めようとする方向性に賛同いたします。</p> <p>一方で、本構想における「エンターテインメント」と「学び」の融合を進めるにあたり、地域固有の文化や風土に根ざした体験の強化が重要であると考えます。</p> <p>あすたむらんどは、集客施設としてだけでなく、徳島の自然・文化・人の営みと結びついた体験を提供できる点にもあると感じています。</p> <p>そこで、以下の観点について検討していただきたいと考えます。</p> <p>(1) 地域の文化や風土に根ざした体験の強化</p> <p>①徳島の自然環境や季節性を活かした体験プログラムを充実</p> <p>②地域の産業・文化・技術と連携した体験型コンテンツの展開</p> <p>③その土地でしか得られない体験価値の明確化</p> <p>(2) デジタル技術と実体験の関係整理</p> <p>①デジタル技術は体験を補助する手段として位置づけること</p> <p>②五感を使った体験や対面での学びを維持・強化すること</p> <p>③デジタルに依存しない体験の選択肢を確保すること</p> <p>(3) 地域主体の運営と持続的な価値の創出</p> <p>①地域の人材・企業・教育機関との連携の強化</p> <p>②長期的に地域に根ざした運営体制の構築</p> <p>③利用者数だけでなく、体験の質や学びの深まりを重視した評価の視点を導入</p> <p>あすたむらんどが、流行や一時的な集客にとどまらず、地域の価値や学びを体験できる場として、これからも長く県民に親しまれることを期待しています。</p>	<p>徳島固有の自然環境や産業・文化と結びついた体験を提供することは、他県にはない本施設ならではの価値を創出する上で重要な視点であると認識しております。「基本構想」におきましても、豊かな自然や産業・技術、伝統文化を体感できる拠点づくりを掲げており、いただいたご提言は今後の施設づくりの参考とさせていただきます。</p> <p>実体験や対面での学びを本質的な価値とし、デジタル技術をその補助的な手段として位置づけるべきとのご意見は、社会教育施設としての役割を踏まえる上で大変有意義なご指摘と受け止めております。最新技術の導入が、学びや気づきをより深めるための効果的な手段となるよう、その活用方針について研究してまいります。</p> <p>施設が長期的に県民の皆様が親しまれるためには、地域人材や地元企業、教育機関等との連携による持続可能な運営体制が不可欠であると考えており、「基本構想」におきましても検討課題として掲げております。また、単なる利用者数の増減のみならず、提供する体験や学びの質といった多角的な視点からの施設評価のあり方について、引き続き検討を進めてまいります。</p>
22	<p>利用者の増加につながる提案ではありません。記憶があいまいなのです。県外の施設を見学したときに、その県の科学者の写真と功績を記したパネルの展示が記憶に残っています。徳島も科学者の紹介があっても良いように思います。小学生の遠足時に見てもらうことを期待しての提案です。</p>	<p>「基本構想」におきまして「次世代を育む科学・技術の探求拠点」としての機能強化を掲げております。今後、施設のリニューアルを進めるにあたり、子どもたちが郷土への誇りと科学への探求心を感じられるような展示のあり方について、検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
23	<p>はじめに 「あすたむらんどリニューアル基本構想（素案）」を拝見し、施設の老朽化や有料施設の利用者数の低下、維持管理費の負担といった課題があることは理解しました。しかし本素案では、学びの拠点、自然や文化を体感できる拠点、観光誘客、年間60万人のにぎわい創出など、複数の方向性や目標が並んでいる一方で、それらの関係が十分整理されておらず、リニューアルの目的、ひいてはあすたむらんどが果たすべき社会的使命そのものが明確でないように感じました。</p> <p>そのため、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>あすたむらんどが果たすべき社会的使命と制約条件を明確にし、</li> <li>その使命を果たすために、どのようなターゲットに何を提供するのか整理し、</li> <li>その使命が果たされたと評価するための定量的な目標を示し、</li> <li>その目標の達成に向けて、各施策がどのように寄与するのかを示す</li> </ol> <p>ことをお願いしたいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>あすたむらんどが果たすべき社会的使命と制約条件の明示 素案には、「エンターテインメントを通じた学びの拠点」「豊かな自然や産業・文化を体感できる拠点」「年間60万人のにぎわい創出」など、あすたむらんどが目指す事項が複数示されていますが、結局のところ何が中心的な目的なのかが明確ではないように見えます。あすたむらんどは公共施設である以上、何らかの社会的使命を果たすために存在しているはずです。本来、リニューアルが必要と示すなら、まず社会的使命を明らかにし、あわせて財政上・運営上の制約条件を示したうえで、このままではその使命を果たし続けられないからリニューアルすべきという説明になると思います。</li> <li>社会的使命を果たすために、どのようなターゲットに何を提供するのか整理する 素案では、従来のファミリー層に加えて、若者、大人、観光客へとターゲットを広げることが示され、提供することについても、科学・技術、アトラクション、イベントなど幅広い案が並んでいます。もちろん、大型施設である以上、一定の多機能性を持たせたいという考え方は理解できます。しかし、限られた原資の中で多様なターゲットに同時に訴求しようとする、焦点がぼやけ、結果としてどの層にとっても決め手に欠ける施設になるのではと考えます。 そもそも、1で整理した社会的使命に照らして、誰に対してどのような価値を優先して提供するのかを明示すべきです。たとえば、科学・技術に関する学びを中核に置くのであれば、それに資する機能を優先すべきですし、反対に、にぎわいや関係人口の回復を目的とするならイベント等を優先するのもかもしれません。 また、仮に本来の使命だけでは持続可能な運営が難しく、収益の確保のために付加的な機能が必要であるとしても、それらの付属的な価値提供が施設運営にどのように、どの程度貢献する想定なのかを整理し、優先順位をつけて投資する必要があると思います。</li> <li>社会的使命を果たすために何を達成すべきか、定量的に示す 素案では、将来の姿として年間60万人のにぎわい創出や、課題として年間維持費約6億円といった数値が示されていますが、どのような数値を、なぜ達成しなければならないのかは十分に説明されていないように見えます。もちろん、素案段階で厳密な数値を確定することまでは求めませんが、少なくとも社会的使命と制約条件から逆算して、どのような指標を目標とすべきか、その考え方は示していただきたいです。 たとえば、使命の中心が科学技術教育にあるのであれば、単なる来場者数だけではなく、教育施設の利用者数、学習効果に関する指標などが重視されるべきでしょう。一方で、地域振興や経済効果を重視するのであれば、県外来場者数、県内での消費額など、別の指標が重要になるはず。また制約条件として年間維持費もどの程度に抑えたいか目標が置かれるべきでしょう。 いずれにせよ、何を達成すれば本リニューアル投資が成功といえるのが測定可能な形で定義されていなければ、どのような施策が適切か議論ができません。</li> <li>その目標達成に向けて、各施策がどのように寄与するのかを示す 素案には、展示内容のリニューアル、民間事業者のノウハウ活用、アトラクションやイベントの導入、利用料見直しなど、さまざまな施策の方向性が示されています。しかし、1～3で述べたような社会的使命、ターゲット・提供価値、成果指標が明らかでないために、それぞれの施策の有効性を議論したり試算することが困難に思えます。ぜひ、1～3の整理をもとにそれぞれの施策がどの目標にどの程度寄与するのかを整理して示して下さい。 以上、素案段階でここまで厳密に決めないというような内容もあるかと思いますが、少なくとも1や2についてはもう少し明確にできると思いますのでご検討いただけますと幸いです。</li> </ol>	<p>あすたむらんど徳島は、科学に関する体験や交流の場の提供を通じ、「創造性豊かな青少年の育成」および「県民の余暇の充実」に資することを社会的使命としております。開設から20年以上が経過し、施設の老朽化や社会情勢の変化、さらには今後の厳しい財政状況が想定される中、施設の価値を最大化させるため、従来の「教育機能の拡充」に加え、持続可能な「にぎわい拠点」として新たな利用者層を取り込むための抜本的な見直しが必要であると考えております。</p> <p>今回のリニューアルにより、従来のメイン利用者である「ファミリー層」に向けて、遊びや体験を通じた教育や憩いの環境づくりを軸に据えつつ、「新たなにぎわい」と「収益性向上」に繋がる若者や観光客に向け、感動や楽しみを体感いただく新たなコンテンツづくりを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>「基本構想」におきましては、民間事業者のノウハウを最大限に活用し、自由度の高い提案を引き出す意図から、幅広い方向性をお示ししております。今後の具体的な施設整備の検討段階において、事業者のご意見等を踏まえながら、施設の社会的使命に照らした提供価値の整理や、施策の優先順位の考え方を参考に、検討を進めてまいります。</p> <p>社会的使命から逆算した目標指標（来場者数、教育効果、経済効果等）を設定すべきとのご意見は、事業成果を適切に評価するための重要な視点として受け止めております。今後、具体的な事業内容や運営体制を定めていくプロセスにおいて、本施設の目的に応じた適切な評価指標のあり方について研究してまいります。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
24	<p>1. アクセスの向上はぜひ期待したいです。転勤族や自家用車を持っていたとしても仕事に使う家庭の場合、子どもを連れて行きたくても平日に行くことができません。また、徳島にはチャイルドシートをつけてもらえるタクシー会社がない為、小さい子供を連れていくのにも躊躇してしまいます。一応、板野駅から乗れるバスもあるようですが選択肢が少なく、最終便も早いためクリスマスなどの夜間イベントに行くこともできません。以前実証運行していた「のるーと」のような乗り合いバスができれば、「あすたむらんど」に限らず文化の森や動物園にももっと気軽に行けるのと思います。</p> <p>2. 子ども科学館の修繕できない展示用のパソコンについては、ラズベリーパイのようなシングルボードコンピュータで代用できないのでしょうか？ その展示内容も、日本科学未来館の「零壹庵」のような大学やアーティストによる実証実験という形にできれば話題性もあるかと思えます。</p> <p>3. 吉野川めぐりはアトラクションとしては十分魅力的だと思いますが、集客の為にはタヌキよりもっと人気のあるキャラクターを置いた方が良くと思います。可能か分かりませんが、ポケパークカントーからお古を借りて（そのエリアだけ）ポケパークシコクとでも名乗れば、県内だけでなく四国から人を呼べると思いますし、ポケモン天文台などのイベントとも絡めやすくなり、科学館やプラネタリウムの人気も取り戻せるかと思えます。</p>	<p>施設へのアクセス向上につきましては、利用者の利便性に関わる重要な課題と認識しております。ご提案の乗り合い交通（デマンド交通）等の二次交通の活用につきましては、今後の対策を検討する上での参考とさせていただきます。</p> <p>基本ソフト等の問題により修繕できない展示物について、来場の皆様にご不便、ご迷惑をおかけしております。安価なシングルボードコンピュータでの代替・アップデートのほか、大学やアーティストによる実証実験の場とすご提案につきましては、「基本構想」においても、「県関連企業や大学、クリエイター等との連携」を掲げており、常に新しい「学び」を提供できるエデュテインメント拠点を目指すための参考とさせていただきます。</p> <p>「吉野川めぐり」につきましては、大規模修繕を含めた今後のあり方を検討していくこととしております。ご提案いただいた人気キャラクターとのコラボレーションをはじめ、効果的な発信や魅力的な演出も含めた検討を進めてまいります。</p>
25	<p>科学館の展示をブラッシュアップして、大人も一緒に学んで楽しめるようにしてください。</p>	<p>「基本構想」において、あらゆる世代が楽しめる「エンターテインメントを通じた学びの拠点（エデュテインメント拠点）」の形成を掲げております。</p> <p>施設のリニューアルを進めるにあたり、子どもたちの探求心を育むとともに、大人の方にとっても新たな気づきや知的好奇心が満たされるような、多世代が共に楽しめる魅力的な展示のあり方について検討してまいります。</p>
26	<p>・あすたむらんどは、水と緑と光をコンセプトに整備された大型公園となっている通り、誰でもが毎日でも利用できる、気軽に利用したくなる公園です。早朝には毎日シニア世代の方が健康づくりのために利用されています。園内を一周されたり、風車の丘まであがり体操されたり、最後にはくつろぎ館で休憩し交流されています。一人暮らしの方やご夫妻がベンチにすわり、木々が多く、緑の中でいることで癒され、子どもたちの姿を見ることで元気をもらえらることも。駐車場も無料なので、毎日利用できているので、駐車料金を有料にする場合は、最初の2時間は無料にして、その後は200円ぐらいの安価にして、時間により値段があがる仕組みだと、ゆっくりと過ごすことができないと不安な声もあるので、有料にする場合は、今まで利用されているシニア世代を排除してしまわないように丁寧な検討をお願いしたいです。実際に利用されている方の意見の聞き取りをして欲しい。</p> <p>・知事さんが、「値段が高くて、来てみたいと思える施設にする」とテレビで言われていましたが、高いと利用回数は減ります。子育て家庭の家計の現状をご存知なのでしょうか？</p> <p>テーマパークにするといった考えには不安が残ります。子育て家庭を苦しめることのないように、保育者、教育者、子育て世代など、多様な方のご意見を丁寧に聞いて頂きたい。</p> <p>都会と同じ考え方では徳島では長続きはしません。大きな予算でイベントのように数回来れば飽きてしまうような税金の使い方ではなく、体験型、特にデジタルづけにすることのないように、子どもの成長に欠かせない大人との安定した関わりの中で、体を動かし、自分から夢中になって試行錯誤できる発達段階に合わせた多様な遊びと環境が必要です。</p> <p>他県と同じもの、都会のすでにしているものを持ってくるのではなく、徳島ならではの独創性のあるものを教育者と共に検討して頂きたい。</p> <p>・徳島木のおもちゃ美術館には、子どもの時にあすたむらんどによく来ていた方がママパパとなり、また子育て世代の方が、祖父母となり、またあすたむらんどに戻って来てくれています。老朽化している施設や遊具、科学館の在り方など、リニューアルは必要だと思いますが、あすたむらんどが決して人気がない場所だと言い切るのをおかしいと思います。県外の方も多数来てくださっています。魅力ある公園と思ってくださる方は、リピーターとして、年間パスポートを購入したりとされています。リニューアルが空回りにならないよう、あらゆる年代の方に集まって頂き、県民の声が届くような検討委員会であって欲しいと切に願います。</p> <p>・大型遊具は転落事故など実際に起こり、保護者も高所に付き添えないこともあります。小さな子どもさんの遊具ゾーンや、障がいをもつお子様たちも楽しめる遊具広場を作って欲しいです。</p> <p>・科学館の場所にも雨にぬれない、夏の日差しを避ける屋根を付けて欲しいです。</p>	<p>「基本構想」において、「幅広い世代の健康増進の場として、ウォーキングやランニングコースの設定」や「四季折々の自然を楽しむエリアの設定」を掲げており、シニア世代の皆様にも引き続き日常の憩いの場、健康づくりの場として安心してご利用いただける環境の構築は大変重要であると認識しております。また、駐車場等の料金設定につきまして、基本構想の記載内容を補足するとともに、施設の持続可能な管理運営を実現するため、各施設の目的や役割、サービス内容を踏まえた適切な料金のあり方について、検討を進めてまいります。</p> <p>基本構想に掲げる「エンターテインメントを通じた学びの拠点」は、既存機能を廃止して商業的テーマパークへ全面的に転換するものではなく、「学び・体験」や「豊かな自然」という強みに「遊び」の要素を掛け合わせ、多世代が自発的に楽しめる空間への進化を目指すものです。料金のあり方につきましては、これからも多くの方に親しまれる施設となるよう、各施設の目的や役割、充実するサービスの内容を踏まえた上で、適切な料金設定について検討を進めてまいります。</p> <p>本施設は年間入園者数も43万人前後で推移しており、多くの方にご利用いただいている県内有数の人気施設であると認識しております。また、未就学児向け遊具や、誰もが一緒に楽しめるインクルーシブ遊具等、天候に左右されない屋内環境の確保につきましては、子育て世代の利便性向上につながるご意見と受け止めております。「基本構想」に掲げる「多世代が楽しめる遊びと憩いの環境づくり」に向け、今後の施設整備を検討する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見・ご提言等	ご意見に対する県の考え方
27	<p>子ども科学館は一定期間の休館、または一部閉鎖をしながらでもリニューアル工事、補修、アップデートをすべきです！</p> <p>展示物などの老朽化、欠損、展示の陳腐化は県内のお子さんが気の毒です。安全管理もできていません。</p> <p>構造物には改良工事が必要なものがいくつもあります。既に補修済みかも知れませんが大きめの地震が来たら倒れる危険性もあると思われます。</p> <p>徳島の将来を担うお子様たちのためにも早急に改築、改善、リニューアル、運営方法の見直しをされるべきだと思います。</p>	<p>子ども科学館等の老朽化・陳腐化については最重要課題の1つであり、時代に合わせた展示更新等を計画的に進める必要があると認識しております。安全確保には常に細心の注意を払い、必要な修繕を実施するとともに、適正かつ継続的な維持管理のもと、持続可能で魅力ある施設となるよう今後のリニューアルを進めてまいります。</p>